



東北・福島+埼玉=福の玉 が生まれ、ゆっくりふくらんでいきますように...

残暑
お見舞い
9月号

福玉便り

ふく たま だより

2016年9月1日発行

通巻第52号

発行『福玉便り』編集委員会 NPO法人埼玉広域避難者支援センター・(一社)埼玉県労働者福祉協議会・NPO法人ハンズオン埼玉
協力:生活協同組合コープみらい埼玉県本部 デザイン:NPO法人ハンズオン埼玉 メール:fukutama@431279.com
連絡先:(一社)埼玉県労働者福祉協議会:〒330-0061 埼玉県さいたま市浦和区常盤6丁目4-21 TEL048-833-8731

第2回 埼玉県県営住宅申し込み説明会 10月6日(木)

●会場・未定(さいたま市予定)

埼玉県の県営住宅の自主避難者枠について、県のご担当の方に説明をしていただきます。申し込みに関する細かい質問・相談についてや、「こうしてほしい」という要望など、直接話せる貴重な機会です。是非、ご参加ください。(詳細次号にて!)

今年も開催します!

福玉バーベキュー大会 in日高

“埼玉S級グルメ店”に認定されたお店で、最高品位の「豚肉」をみんなで楽しく食べませんか?

- 開催日 2016年10月22日(土)
集合時間午前10時~受付開始
10時20分~10時40分開会イベント
10時40分~12時30分バーベキュー交流会

先着
150名様

- 会場 レストランサイボク
埼玉県日高市下大谷沢546(電話042-985-4272)
- 参加費 大人(高校生以上)500円*中学生以下無料
※参加費にはビール等お酒の料金は含まれていません。
- 募集 150名(先着順)
- 受付開始 2016年9月12日(月) 午前10時から
- 申込み先 埼玉労福協(一般社団法人埼玉県労働者福祉協議会)・サイボクBBQ係 電話048-833-8731

《福玉BBQバスのご案内》

今年も東武越谷駅からさいたま新都心経由で福玉バスが走ります。

- ☆定員45人(先着順)
- ☆料金大人1,000円中学生以下無料
- ※バス発着場所は、お申込み時にご確認下さい。



第13回 福玉交流サロンin大宮

を開催します!

9月28日(水) 午前11時30分会場

場所:東天紅大宮店

先着
50名様

- 9.28福玉交流サロンin大宮
- 開催日 2016年9月28日(土)
開場 午前11時30分(受付開始) サロン開始 午前11時50分
田部井淳子さんのお話正午~12時30分
田部井さんと一緒に楽しい中華ランチ
- 会場 東天紅大宮店 埼玉県さいたま市大宮区錦町682-2
大宮情報文化センター(JACK大宮)18階 電話048-647-0080
- 参加費 無料※ビール・お酒等の料金は自己負担となります。
- 募集 50名(先着順※現在受付中)
- 申込み先 埼玉労福協(電話048-833-8731)または各支援員まで

前回の福玉サロンの様子



食卓を笑顔に、地域を豊かに。

コープみらいフェスタ inスーパーアリーナ

10/2(日) 10時~16時
さいたまスーパーアリーナ 入場無料

- 同時開催 ○医療生協さいたま健康フェスタ
- さいたま THE(地)スイーツフェア
- 国際フェア2016

詳しくはコープみらいホームページをご覧ください

コープみらいの食育「たべる、たいせつ」をテーマに開催します。人気のコープ商品や産直野菜のお取引先など約80社が試食・販売する物産展や親子で楽しめる食の体験企画、ステージをお楽しみください。

会場では、東日本大震災復興支援団体による物産の販売や活動の紹介、熊本県の農産物の販売をおこないます。

*埼玉広域避難者支援センターも、交流会のマップの展示や『福玉便り』の配布などを通して、県内での活動を広く紹介します。ぜひ、ブースに遊びにきてください!

山の学校inときがわ

8月7日(日)、毎年恒例の「山の学校 in ときがわ」が開催されました(主催・ネットワーク S A I T A M A 21運動)。今年も晴天の下、参加者38名、スタッフ33名で、賑やかに開催することができました。私もゼミの学生たちと一緒に参加させていただきました。

ときがわ町旧大柵第一小学校跡地に集合して、「ときがわ山里文化研究所」のスタッフの方から注意事項の説明。そこから山道をハイキングして、まずは最初のメインイベント、都幾川の川遊びです。河原で沢蟹を捕ったり、上流に向かって川の中を進んで行ったり、ご家族がそれぞれの遊び方を見つけていました。最も上流のエリアでは、原田ゼミの学生が、お子さんたちよりも夢中になって滝に飛び込んでいました(笑)。

山道を引き返して小学校跡地に戻ると、次のメインイベント、バーベキューと流しそうめん。焼き立ての肉や新鮮な野菜を、お腹いっぱいいただきました。そして、青竹の流し台から流すめんが流れはじめると歓声が上がリ、涼しい気分です。めんを味わいました。最後はお子さんたちにお土産のお菓子を配り、全員でテントや資材を片づけて、解散となりました。

参加したYさんからは、「こちらに来てから自然と触れ合う機会が少ないので、子どもたちが思う存分に川遊びできる企画が楽しかったです。ストレス発散になりました」と感想をいただきました。皆さんにとって、埼玉の暑さを少しでも和らげる一日になったのなら幸いです。

(編集部 原田)



「4年目にしてやっと参加できました」

「ぼろろんの時間ですよ」報告

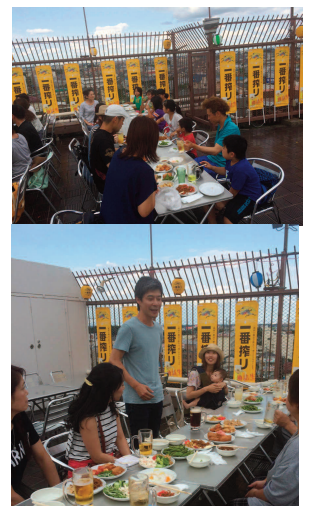
7月24日に開催された、「ぼろろんの時間ですよ」は、暑気払いも兼ねて、川越まるひろ屋上での飲食をしながらの交流会でした。参加下さった方は、大人15名、子ども9名と沢山の方々に参加いただき、うれしかったです。

参加下さった方の中には、復興支援員の塚原さんとみおか子どもネットワークの金子さんもいらっしゃいました。金子さんは、「JCN(東日本大震災避難支援全国ネットワーク)のブログに、ぼろろんを紹介したい!」との事で参加下さいました。

また、被災復興における放射能問題を中心に扱い、情報や場を提供している藤城光さん(いわき市)が赤ちゃんを連れて来て下さいました。

さらに、4年目にしてやっと参加できましたと、南相馬市原町区から息子さんと震災2年後に上尾市へ来たま市と避難されて来たOさんも参加してくださいました。Oさんは、「最近、上尾市からさいたま市へ引っ越しをしたので、さいたま市から南相馬市への帰り道はどう行けばいいの?」という質問をスタッフの高野、太田へ質問し、道筋が分かって安心した様子でした。帰りにはとっても楽しかったと言って下さいました。

まだまだ、「初めて参加しましたという方がいらつしゃいます。最初の一步は緊張す



るかもしれませんが、これからも毎月開催しますので、ぜひいらつしゃってくださいね。笑顔で仲間がお待ちしています。

【ぼろろん♪スタッフの思い】

★これからの住宅問題は、多様化しているので色々なパターンがある事を考えながら情報提供等をしていきたいと思ひます。

★こども達の成長も進み、就学の問題も出てきたので、スタッフの経験を生かしていけたらいいと思ひています。

★幼少のこども達の外遊び、キッズシア東京や工場見学などの体験型の遊びなど、子どもたちが楽しめる交流会もいいですね、と復興支援員の方と話をしました。(ぼろろん♪スタッフ/太田吉子)

ぼろろんの時間ですよ♪

@川越伊勢原公民館 和室(予定)

9月11日(日)

今月は、再び映画上映会を行う予定です。また、積み木を寄付して下さった方がいますので、それも配布したいと思います。小さいお子さんのいらつしゃる方は、ぜひお持ち帰りください。ご参加、お待ちしております!

問い合わせ:07055940053(鈴木)

cheer@kxa.biglobe.ne.jp(吉田)

住宅問題を考える17

民間賃貸住宅への家賃補助の施策

8月17日、民間賃貸住宅への家賃補助の施策を福島県が発表しました。

【借上住宅打ち切りに伴う、民間賃貸住宅への家賃補助の変更施策】

●2015年12月25日(福島県の施策発表日)以降に、民間賃貸住宅に引っ越し(避難継続)をした人も、2017年1月から家賃補助が受けられます。(これまで受けられなかったことが全国で問題になっていました。該当する方もいると思いますので、ご確認ください)ちなみに、2017年1月から家賃補助3万円がはじまり、2018年4月から2万円になります。(最長で2年3か月の補助)

●民間賃貸住宅の家賃補助の所得制限が15万8千円から21万4千円になります。

●民間賃貸住宅の家賃補助は、県内から同県内への移転のみが対象だったが、比較的家賃の高い、東京都・神奈川県・埼玉県に限っては、関東圏内の民間賃貸住宅への引っ越し(避難継続)の場合は家賃補助が出ることになりました。

●県外に避難していて、福島県内の放射線量の低い地域に引っ越しする場合、例えば、福島市から埼玉県に避難していて、会津若松市に引っ越し(避難継続)する場合も、民間賃貸住宅の家賃補助対象になります。

その他、詳細は、福島県のホームページに掲載されています。念のためご確認ください。

また、住宅についてお困りのこと、この先の不安などがありましたら、ぜひ、福玉便りに声をお寄せください。誌面でもご紹介させていただきます(匿名可)。
cheer@kx.biglobe.ne.jp(吉田)まで。

With You さいたま 女性防災フォーラム

9月21日(水) 10:00~15:00

浅野幸子さん(減災と男女共同参画 研修推進センター共同代表)の講演、各地の取り組み、など
会場:埼玉県男女共同参画推進センター(With You さいたま)
申し込み方法:電話048-601-3111か電子メール
m013111f@pref.lg.jp

9月19(月)~24日(土)は、交流コーナーにおいて埼玉県内「防災の取組」パネル展が開催されます。埼玉広域避難者支援センターもパネル等で活動紹介を行います。



福玉支援センターによる 交流会応援について

埼玉広域避難者支援センターは、「平成28年度埼玉県共助社会づくり支援事業」の助成のもと、埼玉県で活動する当事者団体・支援団体の交流会活動を応援します。

対象となる団体:埼玉県内に活動拠点があり、避難している方々が自ら行う団体や、避難している方々と支援者がともに行う団体
対象となる期間:2016年8月1日から2017年2月28日までに実施を計画している活動

応援の内容:埼玉広域避難者支援センターが、交流会の「共催団体」となり、交流会活動にかかる経費の一部を負担します。

募集期間(第一次):2016年7月7日(木)~ 2016年9月30日(金)

ご関心のある団体さんがいらっしゃったら、詳しい応募概要と申請書をお送りさせていただきますので、埼玉広域避難者支援センターまで気軽にお問い合わせください。

お問い合わせ・申込先

〒330-0061 さいたま市浦和区常盤6丁目4番21号 ときわ会館4階
埼玉県労働者福祉協議会事務所内 埼玉広域避難者支援センター

電話:080-5532-7380(薄井)

メール: fukutama@431279.com



生活協同組合パルシステム埼玉 第2回 東日本大震災復興支援助成金 応募団体募集

「パルシステム埼玉東日本大震災復興支援助成金」は、埼玉県内で東日本大震災復興のために活動している!これから活動を始める!という団体を応援します!

○東日本大震災により、埼玉県に避難している方たちをつなげたい/被災地の子どもたちに埼玉県で遊んでもらいたい/埼玉県に避難されている方たちに情報を発信したい/東日本大震災の被災地と埼玉県をつなげて交流したい/パルシステム埼玉東日本大震災復興支援助成金は、東日本大震災による被災地及び被災者への支援を行う団体に対して、パルシステム埼玉が社会貢献活動の一つとして資金面で支援していく制度です。

○応募期間 2016年9月1日(木)~10月31日(月)

※当日消印有効

○助成対象期間 2017年4月1日から2018年3月31日までの1年間に実施を計画している活動

○上限額は1件50万円

○この助成を受けた団体による応募は連続2回までとします。

○応募をお考えの団体の方は、申込み説明会にご出席ください。→ 10月1日(土)11時~12時 ぱる★てらす(浦和駅東口徒歩5分)

○問い合わせ; パルシステム埼玉 まちづくり・福祉推進課048-829-9861

ご注意を! 埼玉県内でも避難者宅を狙った 悪徳商法が発生しています!

全国の消費生活センターによれば、高齢者の消費者被害に関する相談が数多く寄せられているそうです。高齢者は「お金」「健康」「孤独」の3つの大きな不安を持っているといわれていますが、悪質業者は言葉巧みにこれらの不安をあおり、親切なふりをして信用させ、年金や貯蓄などの大切な財産を狙っています。

ご高齢の方は昼間も在宅であることが多いため、電話勧誘販売や家庭訪問による被害に遭いやすいということもあるようです。

さまざまな悪徳商法がある中で、埼玉県内では、避難者宅に訪問した業者による「利殖商法」の事案が発生しています。「値上がり確定」「必ずもうかる」など、利殖になること

を強調して投資や出資を勧誘する商法で、未公開株、社債、商品相場、外国の通貨、事業への投資話など、日頃なじみの薄い利殖話を勧められることが多いのですが、真珠の養殖など、これらを応用した商法が次々と出てきています。

「宝飾品のレンタルで儲けられる」と勧誘し、販売時には「毎月数万円を口座に振り込みます」「数年後には販売額の2割増でを買戻します」となどと説明して相手を信用させ契約を結びます。数ヶ月後には一方的に振込みを停止、買戻しにも応じなくなりします。

訪問/電話勧誘販売の場合、無条件で申し込みの撤回、契約の解除が可能なクーリングオフ適用期間は法律で8日間と定

められています。悪徳商法と気づいた時には適用期間が過ぎてしまい、泣き寝入りせざるを得ない被害が数多く発生しているとのことです。

今回はすぐにご相談をいただいた事、法律家に対応した事で被害は最小限に留めることができたが、詐欺にあわない為には、うまい話には落とし穴があるということをお忘れず、疑問があるときにはすぐにお近くの消費生活センターに直接訪問するか電話で相談するようにしましょう。

埼玉県消費生活支援センター
電話：048-261-0999
*埼玉県内には各市区町村に消費生活センターがあります。こちらにお問合せの上、最寄りのセンターを紹介していただくようにしてください。

福島県県外避難者相談センターより

相談センターが開所して2か月がたちました。心に留めていただいていますでしょうか？
気にかかることがある時は、自分ひとりで抱え込まずにぜひご相談ください。
また身近に悩みを抱えている方がいる場合には、相談センターのことを紹介してください。
まずは話すだけでも気持ちは少し軽くなるものです。内容に応じて専門家や関係機関にもつなぎながら、一緒に解決方法を探していきます。
誰かと話をしたい気分になったら、どうぞお気軽にお電話ください。気候や気分が良い時にはセンターにもお越しください。ゆっくりお話できる場所です。
私たち相談員は、福島県から届いた広報誌や新聞、県内情報やチラシなどを整理しながら、皆さんからお電話と訪問を待っています。
(佐藤、石上、薄井)

フリーダイヤル 0120-60-7722
受付時間：月～金曜日 午前9時～午後5時
FAX 048-816-4800
メール fukushima_soudan@yahoo.co.jp
*番号の間違いにご注意ください。



東日本大震災記録上映会 『原発被災地・避難所の記録』

撮影・監修：高木成幸

＜＜福島県双葉郡浪江町出身カメラマン＞＞

- 日付：2016年9月24日(土) 入場無料
- 時間：
 - 13:30～【第一部】ビデオ・スライド上映会
 - 1 帰れない「ふるさと」
 - 2 「姉妹都市」～杉戸町と富岡町～
 - 3 被災地と避難生活
 - 14:00～【第二部】高木氏への質疑応答
 - 14:30～【第三部】懇親会(飲み物、差し入れ可)
- 場所：シラコバト団地 第一集会室
埼玉県上尾市大字上370 24号棟 駐車場有
- 問合せ：シラコバト団地 自治会 048-607-6723
東日本大震災に咲く会ひまわり 橘 光顕 080-3091-6215

主催：東日本大震災に咲く会ひまわり
共催：特定非営利活動法人埼玉広域避難者支援センター

福島県復興支援員さん

福島県復興支援員埼玉事務所は2014年11月以来、戸別訪問や情報提供・相談対応などを行っています。富永まゆみさん・塚原恵理子さん・森下智恵子さんに加わり、この6月に若尾明子さんの後任として中島睦子さんが採用されました。実は中島さんは、編集部の西川・原田や若尾さんと一緒に、2011年3月にさいたまスーパーアリーナで「情報班」のボランティアとして活動していた方です。久しぶりの再会も兼ねて、取材に伺いました。(編集部 原田)

中島さんは、南相馬市原町区出身で、高校まで原町区で過ごしました。震災の時には、都内でお仕事をするため埼玉県内のご親戚宅にいて、スーパーアリーナのボランティアに通っていました。スーパーアリーナの避難所閉鎖後も、お仕事や出産・子育てに追われつつ、「何かしらの支援に関われれば…」と考えていたそうです。そんな折に、前任の若尾さんからお声がかかって、復興支援員に応募されました。



6月から訪問に回るようになって、避難者支援が多様になっていること、徐々に生活支援や暮らしの見守りに移っていること、を感じるそうです。訪問では南相馬市小高区の方とお会いし、2時間近くお話をしました。ただ、その方が「夜になるといろいろと考えてしまう」とおっしゃっていたのが気にかかっているそうです。また、家族構成に応じて、5年間という時間のなかで皆さんの生活基盤が大きく変化したことを感じると言います。

「原町出身ですが、知らないことばかりなので、色々お話を聞かせてください。どうぞよろしくお願ひします。」とメッセージをお預かりしました。福島県復興支援員4名の皆さんを、引き続きよろしくお願ひします。

■福島県復興支援員 埼玉事務所 平日 9:00~17:00

さいたま市浦和区常盤 6-4-21 ときわ会館 1F TEL: 048-814-1111 / 080-8764-7927 FAX: 048-814-1112

※ 事務所不在の場合は留守番電話にメッセージを残してください。折り返しご連絡いたします。

※ この事業は、福島県が(一社)埼玉県労働者福祉協議会に委託して実施しています。

民生委員・児童委員の方々からのメッセージ

7月13日(水)大宮ソニックスにてイホールにおいて、埼玉県社会福祉協議会主催の「災害について考える集い」が行われました。

福島県復興支援員埼玉事務所として、東日本大震災によって福島県から埼玉県に避難している方へ支援をしている立場からの実践報告を行いました。その際、来場の民生委員や児童委員協議会の方々に、「福島県から避難している方へのメッセージをお願いします」とお願いしたところ、たくさんの方から温かいメッセージを頂きました。ここにてご報告させて頂きます。(福島県復興支援員 富永まゆみ)

★南相馬市の復興支援のお手伝いをしていきます。原発のために家に帰れない人達の先の見えにくい不安など、これからも大変ですが、どうぞ遠慮なく声を上げて欲しいです。また人と関わり合う事で少しでも心が救われる気がします。

★経験が無いので、できれば発信して下さい。お困り事をお待ち申し上げます。

★故郷を離れて暮らす中で、今後の

生活については、各年齢によって状況が異なる事を私共埼玉県人も理解すると同時に、避難されている皆様も自己の意志を持ち今後を見据えて生活して欲しいです。

★近所に福島からの避難者がいらっしやいます。最近ご主人を亡くされましたが、一日も早くお元気になる様に。ガンバレ福島。ガンバレさん。いつも待っているよ。お会いする時の笑顔をお願いします。

★次々と災害が起きてきますが、東日本大震災は忘れないよ。頑張ってください。

★福島ととらわれず、日本人として生活しましょう。遠慮は不要です。

★3月1日から福島の米を食べ続けています。これからも続けて食べて行くつもりです。貴方達を忘れてはいませんよ。

★8月かけて、復興を願ひ千羽鶴を折りました。毎日その鶴を見て祈っています。復興半ばですが、身体をいたわり頑張ってください！

避難指示解除地域レポート

——葛尾村——

■はじめての「居住制限区域」の解除

2016年5月31日、避難指示解除を2週間後にひかえた、葛尾村へ向かいました。

避難指示区域は、2012年の避難指示の区域再編で「帰還困難区域」「居住制限区域」「避難指示解除準備区域」の3つに分けられています。再編から3年後の2015年6月、政府は「帰還困難区域を除いた区域を2017年3月までに解除するという方針を示しています。避難指示解除準備区域」の解除はこれまでも、避難指示解除が行われていますが、葛尾村は、初の「居住制限区域」の解除でした。



村の中を車で走りまわると、除染作業車、汚染土を積んだダンブカーが行きかい、避難指示解除の準備で忙しいのか、役場の電気がついていました。ゴミ捨て場の横に貼られたポスターを見ると、「地デジ移行のお知らせ」という文字。2011年3月のまま、アイドルの笑顔が日に焼けて褪せていました。

■いずれ、戻りたいけれど

葛尾村の人々が避難している三春町の仮設住宅に併設されている石井食堂です。避難している方が集う場所になっていますが、一般のお客さんも少なくありません。

「いずれ、戻って食堂を再開できたいと思うているけれど、先が見えないですよ。浜（太平洋側）に抜ける通り道で商売をしてきたから、そういうお客さんが寄ってくるんです。でも、今は浜には抜けれませんがね……お客さんが来るのかな」



石井食堂の石井さんはそんな風に話してくれました。

■南相馬市小高区川房地区

住民の意向

6月12日、葛尾村が避難指示解除になり、その1カ月後の7月12日には、南相馬市小高区が避難指示解除になりました。

南相馬市小高区には、何度か伺いました。最初に行ったのは、2016年2月28日。避難指示解除説明会です。その後も3度ほど、小高区の人たちにお話を伺っています。

小高区の中でもとくに川房地



区は、放射線量が高く、「居住制限区域」に指定されています。

バラバラに避難した川房地区の住民同士で連絡を取り合い、賠償、除染、農地再生の班に分かれて、問題解決のために集まり、話し合いを繰り返してきています。内閣府、環境省、南相馬市——何度も、「まだ解除しないほしい」という住民の意向を汲むよう、組織的に要求を繰り返してきています。

避難指示解除説明会で、ある女性が「この5年で、命の重さが変わったんでしょか」といいました。その背景には多くの理不尽の積み重ねがありました。

■守られなかった約束

そもそも、避難指示解除の手続き自体に、約束の反故がありました。もともと、2012年の段階では、「居住制限区域」である川房地区は、「避難指示解除準備区域」に移行し、その後、解除にする、という約束でした。

しかし、南相馬市は、「居住制限区域」から一足とびに「解除」するという決定を下しました。当然、住民からは「約束と違う」という声があります。

「放射線量は下がっている」と

いう説明で示される地図は航空機モニタリングによるもの。歩いて放射線量を測り、細かい測定値を知っている住民は、納得がいかない、と話します。

この地域には「いぐね」と呼ばれる屋敷林が自宅の周辺にあります。この「いぐね」は放射線量が高いにも関わらず、当初は表土除去の除染の対象になっていませんでした。堆積物（落ち葉を除去するだけ）で「除染」とされていたのです。（写真）

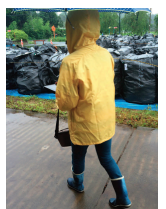


堆積物除去だけではなく、表土除去を含めた除染を要望し続け、ようやく、認められたそうですが、それでもなお、空間線量が簡単に下がるわけではありません。

■私はなにも悪いことはしていない

「除染、間に合わないと思います」

川房地区の山本美津子さん（仮名）は苦笑いしながら、そう言いました。2016年7月5日、避難指示解除1週間前。山本さんの自宅の除染は、始まって10日ほど経っても、まだ終わっていませんでした。あと1週間が終わるとも思えない、自宅敷地内にはフレコンバックの山。



山本さんは、庭のフレコンバックを指さし、言いました。

「ここに、ウッドデッキ、壊したのが入ってるはず」

山本さんは、数日前、夫と一緒に、ウッドデッキを壊しました。除染作業委員は、個人の持ち物を壊すことができないため、手を付けられず、廃棄するためには自ら手で壊すしかありませんでした。

「ここに越してから17年かけて、地域の人のつながりを作ってきたんです」と山本さん。ウッドデッキも、かつて近所の人たちと過ごした大切な場所でした。

「私はなにも、悪いことはしていません。山本さんは、そうつぶやきます。」

ウッドデッキを撤去したコンクリートの基盤は、継ぎ目の部分の放射線量が高くなっています。隙間に入り込んだ放射性物質はなかなか取り除けないと言います。

伺った翌日、山本さんから、一通のメールが来ました。そこには、こう書かれていました。

「あのウッドデッキは、夫から私の誕生日プレゼントだったんです。何回もお願ひして、やっと作ってもらったものでした」と。

（編集部：吉田）

こちらのサイトにも情報があります。
<http://431279.com/>
 (SSN震災支援ネットワーク埼玉)

福玉カレンダー

10月

29 鳩のつどい
 月2回 10:00～12:00
 JAXA鳩山宿舎108号室
 ☎049-296-1241 (鳩山町健康福祉課)

32 福玉・謡曲の会
 9/18(日)、10/8(土)10:30～12:00
 WithYouさいたま和室
 ☎090-6128-1948 (小林さん)

33 つながり
 9/11(日)13:00～15:00
 10/22(土)時間不定 中央公民館
 毛呂山町 ☎090-9032-8116 河井さん

1日(木)	3	13	9月
2日(金)			
3日(土)	8		
4日(日)			
5日(月)			
6日(火)			
7日(水)	14		
8日(木)	17	13	19
9日(金)			
10日(土)	24	26	
11日(日)	27	33	
12日(月)			
13日(火)			
14日(水)			
15日(木)	1	13	16
16日(金)			16
17日(土)			
18日(日)	15	32	
19日(月)			
20日(火)			
21日(水)	18		
22日(木)	19	13	28
23日(金)			
24日(土)	8		
25日(日)	25		
26日(月)			
27日(火)			福玉便り発送 9/23(金)13:30～
28日(水)			
29日(木)			
30日(金)			

17 つながりの会
 毎月第2木曜日10:30～16:30
 9/8(木)、10/13(木)東北復興支援販売
 草加市物産・観光情報センター
 ☎048-932-6770(草加市社協地域福祉担当)

18 ひまわりの会
 9/21(水) 1品持ち寄りサロン
 10/19(水) おしゃべり+クラフトサロ
 やすらぎ会館
 ☎080-5431-0123 (島田さん・留守電)

19 さいがい・つながりカフェ
 心ゆくまでおしゃべりできます。
 お気軽にご連絡ください。
 月2回木曜日11:00～15:00
 9/8(木)、9/22(木)、10/13(木)、10/27(木)
 With You さいたま 4F 和室
 (埼玉県男女共同参画センター・新都心駅7分)
 ☎048-601-3111(さいがい・つながりカフェ)

22 浪江のしゃべり場
 浪江町の復興支援員が常駐しています。
 お気軽遊びに来てください。
 月曜日～金曜日10:00～17:00
 浪江町復興支援員 埼玉事務所
 さいたま市 ☎048-833-8731(埼玉労協)

23 和光3・11 つながりカフェ
 ☎048-452-7606(和光市ボランティアセンター)

24 新座さいがい つながりカフェ
 9/10(土)、10/8(土)
 13:30～ 栄公民館 2F 研修室
 新座市 ☎090-2402-9155(谷森さん)
 ☎080-6023-2799(福地さん)

25 青空あおぞら
 9/25(日) 冷たいデザートづくり
 10/23(日) 看護師さんによる健康相談
 13:30～16:00 新所沢公民館(法律相談可能、お子様OK)
 所沢市 ☎048-829-7400(SSN)

26 お茶飲み交流会
 隔月1回 10:00～12:30
 9/10(土)10:00～12:30 市民福祉活動センター(ばれっと)
 ☎049-251-2711(富士見市安心安全課 梶田さん)

27 おあがんなんしよ
 9/11(日) サロン
 13:00～ フクトピア
 10/16(日) 近郊史跡・名所めぐり
 ☎090-5345-8408(私館さん)

28 ここカフェ@川越
 心の内を話せる場、お子様連れも大歓迎です。 毎月1回
 9/22(木) 10:00～14:00
 JUNホール
 ☎070-5594-0053(鈴木さん)

5 びえろの遊び広場
 騎西コミュニティセンター
 sai.jacpd@gmail.com(坂本さん)

6 負けねっちゃきり
 石巻から伊奈町に避難されている高橋さんが呼びかけています。どなたでもどうぞ。
 伊奈町 ☎090-7244-9267(高橋さん)

7 向原団地被災者の会
 時々交流会しながら、つながって行きましょう(*^o^)/(^-*)
 上尾市 ☎080-6044-2922(富永さん)

8 東日本大震災に咲く会 ひまわり
 毎月第1土曜日
 9/3(土)、10/1(土) 会合
 10:00～12:00 シラコハト団地第一集会所
 9/24(土)13:30～ 東日本大震災記録上映会(詳細は4ページ)
 上尾市 ☎048-607-6723(団地自治会事務所)、☎080-3091-6215(橋さん)

10 くまがや結の会 熊谷市
 ☎080-5430-5452(事務局・駒宮さん)

11 羽生つながりカフェ
 羽生市 ☎080-5532-7380(薄井さん)

12 お茶っこふるさと会
 毎月第4 週水曜日10:00～12:00
 久喜市 ☎090-6855-7140(木幡さん)

13 杉戸元気会 つつじの里サロン
 定例毎週木曜日13:30～15:30
 国家公務員宿舎杉戸住宅
 (つつじの里サロン) 杉戸住宅6-301
 ☎0480-33-3455(佐藤さん)

14 春日部つながりカフェ
 9/7(水)、10/6(木)13:30～16:00
 コーププラザ春日部(法律・心の相談可能、福島県職員が参加(9月)、法律相談可能(10月))
 ☎048-829-7400(SSN)

15 ひだまり広場
 月1回 参加費無料
 9/18(日)、10/16(日)12:30～16:30
 ほっと越谷(北越谷駅東口1分)
 ☎090-6456-5497(今野さん)

16 あゆみの会
 10/15(土)・16(日)11:00～ 大和ハウスイベントにて、なみえ焼きそば販売 大和ハウス越谷支店
 10/30(日)越谷市お仕事展にて、なみえ焼きそば販売 越谷市増林地センター
 越谷市 ☎090-9425-2001(石上さん)

1日(土)	8
2日(日)	
3日(月)	
4日(火)	
5日(水)	
6日(木)	3
7日(金)	14
8日(土)	13
9日(日)	24
10日(月)	32
11日(火)	
12日(水)	
13日(木)	
14日(金)	
15日(土)	
16日(日)	17
17日(月)	19
18日(火)	13
19日(水)	
20日(木)	15
21日(金)	27
22日(土)	
23日(日)	18
24日(月)	1
25日(火)	13
26日(水)	
27日(木)	8
28日(金)	
29日(土)	
30日(日)	19
31日(月)	13

1 双葉町民によるボランティアカフェ
 9/15(木)、10/20(木)10:00～15:00
 (法律・こころの相談可能)
 いきいきサポートセンター
 (双葉町社会福祉協議会 加須事務所)
 加須市騎西501-13 ☎048-829-7400 SSN

3 双葉町老人クラブ女性会 & さいがいつながりカフェ
 9/1(木)、10/6(木)10:00～12:00
 いきいきサポートセンター
 (双葉町社会福祉協議会 加須事務所)
 ☎080-5532-7380(薄井さん)

4 寄り添いステーション ころっせくわっせ双葉
 寄り添いステーション騎西
 加須市正能11-5 ☎090-1650-2874(富沢さん)

●ふくしま交流会「ハラショー」
 9/14(水) 絵付き教室、ロシア舞踏 12:00～18:00
 ロシア家庭料理「ターニャ」 ☎048-729-6151(NPO埼玉ネット)

復興支援員さんから

も、お話を聞かせただけだとおもいます。今のお考えを言葉に出してみるということも、新たな一歩を踏み出せる一助になるのではないのでしょうか。どうぞよろしく願います。

最近、仮設住宅から退去した後の住まい確保についての不安が増えました。5年という期間で日々の生活が確立されている状況で、例えば家賃といった一つの条件だけで選択していくということは困難で、新たな住まいを決定することに様々な要素や葛藤があるのだと感じています。



左から山本さん、松丸さん、花上さん

宮城県復興支援員さん

みなさんこんにちは。宮城県の県外避難者支援員の松丸、山本、花上です。私達は宮城県東京事務所勤務し、埼玉県・東京都・神奈川県・千葉県を中心に、各地で開催される交流サロンへの参加や戸

宮城県東京事務所
TEL:03-5212-9045(代)
県外避難者支援員
松丸 美弥子・山本 早苗・花上 桂子

「福玉便り50号記念プレゼント」の
当選結果について

「福玉便り50号記念プレゼント」にたくさんのご応募をいただき、ありがとうございます！当選者の方々には、今号に同封してプレゼントをお送りさせていただきました。なお、ご応募の際に、多くのメッセージをお寄せいただきました。この場を借りて、いくつかご紹介させていただきます。



・復興の現状確認、避難者として連帯を感じるということ、いつ実現できるか不透明ですが今後生活設計を建てる資料として、拝見しています。また、両親の外出が中々難しいこともあり、故郷を感じられる企画を期待しています。震災から5年が過ぎ風化されつつあることが残念です。忘れないで下さい。今後とも支援を含め、宜しくお願い致します。

・いつも福玉便りを楽しみにしております。今回の『福玉便り』創刊から50号を振り返って「は大変興味深く読ませていただきました。……これまで震災に関する映画案内は度々目にしてきましたが、現在上映されているもの、また過去の名作なども紹介していただければと思います。……アウトドアの楽しみが苦手なわたしには映画館が一番の娯楽の場所でもあります。これからも福玉便り楽しみにしております。

・震災から5年がたち、それぞれが埼玉での生活の基盤ができてきて、実際この5年間で、心の中がどう変化してきたのだろう。震災当初と現在では、悩みも様変わりしてきたはず。そんな5年を経て、今の悩みや、福島に対する思いが載っていたらなあ、と感じます。

福玉便りお送りします。
ご希望の方にお送りいたします。
ご連絡お待ちしております。

本誌に関する
ご連絡は
こちらまで

『福玉便り』編集委員会

連絡先:(一社)埼玉県労働者福祉協議会
電話048-833-8731
メール:fukutama@431279.com

こんな情報を掲載してほしい、この記事はよかった、など感想や質問をお寄せください。



ありがとう
ございます!

福玉便りは、「赤い羽根共同募金の災害ボランティア・NPO活動サポート募金」(ボラサポ)の助成金をいただいて、発行しています。

NHK FMさいたま
『福玉便り』コーナー

毎月第4火曜日 午後6時～午後6時50分
(FM85.1MHz 秩父83.5MHz)

☆次回放送は9月27日(火)午後6時～午後7時の間の「生放送」です。

福玉便りのお届け作業を一緒にやったださる方、大募集! 9月23日(金)13:30-16:00ごろ

可能なお時間で。場所:埼玉労福協(ときわ会館)

印刷などの都合で日程が変更になることがあります。できれば、ご一報・ご確認いただければ幸いです。労福協048-833-8731まで

